

知って なるほど!

三重県立総合医療センター



「医療の改善活動」 全国大会に参加しました。



当院は質の高い医療の提供や業務の効率化を目的に、各部門が独自に**改善活動**(Total Quality Management=TQM活動)をおこなっており、年1回の院内発表大会などを実施しています。

昨年度の院内TQM大会にて最優秀賞を取った**手術室チームの活動**について、令和7年11月14日(金)に開催された、第26回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in北九州で発表しました。「滅菌手袋の無駄をなくそう」というテーマで、**コスト削減と業務負担の改善**に繋がった事が評価されました。

今後もより良い医療を提供できるよう、活動してまいります。

マイナンバーカードの健康保険証(マイナ保険証)をご利用ください

令和6年12月2日に健康保険証の新規発行が終了し、マイナンバーカードを健康保険証を利用するための「顔認証付きカードリーダー」が設置されていますので、ぜひご利用ください。



マイナンバーカードの健康保険証利用には次のメリットが得られます。

メリット1

受付時にお薬の履歴や過去の特定健診の情報等の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。



メリット2

マイナンバーカードを保険証として利用する際に、申請に必要な情報を提供することに同意すれば、限度額適用認定証がなくても限度額を超える支払いが免除されます。



三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 救命救急、高度医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として、医療の安全と質を高め、次代を担う優れた医療人材の育成に貢献します。
- 県内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

臨床研修基本理念・基本方針

臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

臨床研修基本方針

- 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
- 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
- チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
- 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
- 医療人としての倫理観を養成する。

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和8年2月/発行号

所在地/〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450-132

電話/059-345-2321(代表) FAX/059-347-3500 メール/sogohos@mie-gmc.jp

MEDICAL CENTER NEWS

医療センターニュース

vol.104 2026 Winter

TAKE FREE
ご自由にお持ちください



組織や細胞を観察し 正確に病気を把握

巻頭特集 病理診断科

病理診断が導く最善の治療

topics

- 2次検査の受付5
- がん市民公開講座5
- 医療通訳サービス5
- インフォメーション6
- 外来診療医師担当表7

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
Mie Prefectural General Medical Center



治療方針を支える的確な観察

患者さんの最善の治療を導く

病理診断科は一般の診療科と異なり、患者さんと医師が対面し診察をすることはなく、その存在を意識することは無いかもしれない。病理診断科は、患者さんの組織や細胞を詳しく調べ、病気の種類や進行具合など、主治医が最善の治療方針を決めるための客観的な事実や数値などを提供している。病気の特性に合わせた治療のためにとても重要な仕事だ。

判断を下すのは専門家の目

病理診断科の部屋は研究室のようだ。机の上には高性能な光学顕微鏡がいくつも置かれている。近年では病理診断にAI(人工知能)を活用するための研究もおこなわれているが、実用化にはほど遠く、現状では専門知識と豊富な経験をもつ人の目に頼らざるを得ない。

ここでの顕微鏡は、約400倍の拡大能力で細胞などの様子を観察できる。「免疫染色」と呼ばれる技術で特定のタンパク質を着色することもある。これを観察すると、例えば、腫瘍なら悪性か良性か、悪性度が高いか低いか、さらには、どのような手術や投薬が効果的かなどの情報を得ることができる。がん細胞の増殖にかかわるタンパク質など、特定の分子だけを狙い撃ちにする「分子標的薬」の適用についても、

一部は病理検査によって判断されている。

当院は令和6年に手術室を2室増設し、そのうちの1室は、コロナ禍の教訓からウイルスが室外に逃げない陰圧構造を施し、感染症の患者さんにも手術が可能になっている。病理診断科はその手術室とドアで隣接し、患者さんから採取した組織や細胞を扱う検体処理室にも、同じく陰圧構造を施した。これにより、感染症の患者さんからも、安全に組織や細胞を病理診断科に持ち込むことができるようになり、作業も効率化した。

専門医と細胞検査士らがチーム

当院の病理診断科は、医師と臨床検査技師のチームで業務をおこなっている。医師は病理診断科部長の福留寿生医師と蒔田直大医師の2名が担当している。福留医師は1991年に

医学部を卒業して東京の国立がん研究センターで発がんについての研究をした後、三重大医学部の医師との出会いなどがあり、同病院での勤務を経て、当院に赴任した。蒔田医師は2023年に医学部を卒業し、2025年より病理診断科の専攻医として専門医の取得を目指している。

臨床検査技師は4名配属されており、うち3名は細胞診断の専門職である細胞検査士の資格をもっている。

4つの業務を担当、病気の本性に迫る

病理診断科の業務は組織診断、細胞診断、術中迅速診断、病理解剖の大きく4つに分けられる。

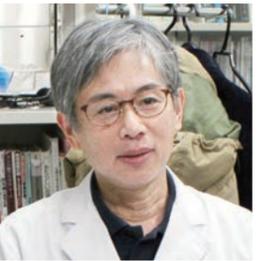
組織診断は、病変部や疑わしい部分の組織を患者さんの体から直接採取する「生検」などをおこない、そこで得た組織を観察して判断する。画像診断だけでは分からない、がんの有無や性質、広がり、転移があるかどうかを把握し、手術の範囲など治療の方針を決めることに役立っている。

細胞診断は、病気を早期に見つけるためのスクリーニング検査や組織の採取が難しい場合におこなう。例えば子宮頸がん検診では、最もがんになりやすい部位からほんの少しの細胞を採取し、患者さんの身体への負担が少ない方法で、病気が疑われるかどうかを判断する。健康診断などで多くの人の細胞を調べ、疑わし

いものがあれば組織診断に進んで、確定させるといった方法で活用されている。

がんが強く疑われるものの、組織を採取するのが困難な肝臓や膵臓などには、「穿刺吸引細胞診」と呼ぶ方法が採られている。これは、病変部に直接細い針を刺して注射器で吸い出した少量の細胞を顕微鏡で観察するもので、がんの確定診断ができる場合もある。

「細胞診断には数多くの細胞を観察してきた経験豊かな細胞検査士の力が不可欠です」と福留医師は話す。



福留寿生医師

手術中の迅速な診断も

術中迅速診断は、組織診断と方法が似ているが、文字通り、手術中に並行しておこなう診断で、スピードが要求される。通常の組織診断では、標本をつくるのに数日を要するが、術中迅速診断では、早ければ10分ほどで標本をつくって診断結果を出し、これを基に、その後の手術の方向性を決めている。

例えば、画像診断などで肺に腫瘍が見つかったとしても、術前検査では肺がんかどうかの診断が難しい場合がある。そういう場合は、手術でその部分を小さく切除して術中迅速診断をおこない、悪性かどうかを確認して、手術の内容を決定する。



乳がんの場合、以前はがんのある乳房とともに、転移の可能性がある脇のリンパ節を切除するという方法が採られていた。現在では、がん細胞がリンパの流れに乗って最初に到達する「センチネルリンパ節」と呼ばれる組織を術中迅速診断で調べることで、がん細胞の広がり具合によって、必要な部分のみを切除することが可能になってきている。いずれも、患者さんへの負担軽減につながっている。

判断がつかないときは

時に予期しない病変などが見つかると、術中迅速診断で急いで調べてほしいと求められることもある。限られた時間の中での判断になるため、確定的な回答が出せないこともある。「その場合は『分からない』と伝え、術後の確定診断まで待ってもらおうよ、執刀医に求めます。術後の病理診断により診断を確定できれば、後日、追加手術をすることは可能です。しかし、切除しすぎてしまうと、患者さんの生活に不利益をもたらす可能性があります。病理診断では専門医の間でも見解が異なることは起こりえます。できるかぎり正確な情報を提供することで、患者さんに余計な負担をかけないようにすることが私たちの基本的な姿勢です」と福留医師は話す。



採取した細胞から標本を作成する様子



標本を観察する福留医師ら▲

手術の執刀医から見ても、病理診断の医師と相談することで、手術を確信をもって進められるといえる。

病理解剖は、主に死因を究明することを目的に実施している。画像診断の精度が高くなった最近では、実施件数が減少しており、役割が変わってきている。例えば、悪性腫瘍は分かっていたが、担当の臨床医が予期しない方向に病状が進んで、患者さんが亡くなられたなどの場合に、治療の効果がどうだったかを検証し、疑問を解明するためにおこなわれる。

病理診断の責任の重さ

病理診断科という特殊な科は、他の病院との垣根が低く、判断に迷った時、その病気や部位を専門とする病理医に意見を求めることがよくあるそうだ。

「病理診断を基に手術や投薬の方向性が決まってくことを考えると、患者さんへの責任はとても重いものだ」と常に心に留めています。専門知識と豊富な経験による診断ではあるものの、「間違いは必ずあるもの」「分からないのに踏み込み過ぎることは絶対に避けなければいけない」と自らに厳しい姿勢を崩さない。

福留医師の話からは、患者さんと直接顔を合わせることはなくても、可能な限りの確実な判断で最善の治療を受けてもらいたい、という誠実な姿勢が伝わってきた。

当院で2次検査を受け付けています

◆対象 健康診断・人間ドック等で「要治療」・「要精密検査」・「要再検査」などの判定が出た方

◆受付方法 健康診断の結果を持参してください。

◆時間 外来受付時間…平日8:30～11:30
(土日祝日、12/29～1/3は一般外来休診)

※2次検査は健康保険が適応されます。

マイナ保険証・資格確認証のいずれかをご持参ください。

※紹介扱いのため、選定療養費7,700円はかかりません。



胃カメラ検査

大腸内視鏡検査

▲大腸病変
大腸内視鏡検査機器
画像提供: オリンポスマーケティング株式会社

第18回三重県立総合医療センター がん市民公開講座 [入場無料]

テーマ: 緩和ケアとトータルペイン

◆日時 令和8年3月14日(土)
13:30～15:00(13:00開場)

◆場所 三重県立総合医療センター 7階講堂

◆定員 会場参加の方 50名(事前申し込み不要)
ZOOM参加の方 50名(申し込み先着順)

講演1 「いたみと治療」13:35～13:50
呼吸器内科医長 児玉 秀治

講演2 「心のケア」13:50～14:05
地域連携部患者支援センター医療福祉相談室室長 今出 雅博

講演3 「生活とお金」14:05～14:20
地域連携部患者支援センター入院後支援室MSW 北山 智美

講演4 「患者さんとの関わり」14:20～14:35
看護部 がん看護認定看護師 酒井 美紀子

お問い合わせ・お申し込み

三重県立総合医療センター事務局 企画部経営企画課

☎059-345-2321 ✉webiner@mie-gmc.jp

医療通訳サービスのご案内

当院では、患者様が安心して医療を受けられるよう、医療通訳サービスをおこなっています。



当院の医療通訳者は、専門研修を修了しており、患者様の個人情報保護と守秘義務を徹底いたします。安心してご利用ください。

◆対象言語 ポルトガル語 ◆通訳料 無料

◆実施日時 毎週 月曜日・木曜日
8:30～17:15(祝日は除く)

◆ご利用場面 診察、検査、健康指導、お薬の説明、入退院時の説明など、ポルトガル語でのコミュニケーションが必要な様々な場面にご利用いただけます。

◆ご利用方法 原則として予約制となります。医療通訳をご希望される方は、事前に本館1Fの患者支援センター医療福祉相談室までご連絡ください。

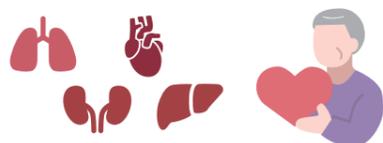
※当院は、他医療機関等の紹介状を持たずに直接来院して受診される場合、初診時選定療養費として診療費とは別に7,700円(税込)の料金をご負担頂いております。受診を希望される場合、近隣の診療所や、かかりつけの医療機関にご相談のうえ、紹介状をご持参頂きますようお願いいたします。

厚生労働大臣より感謝状を頂きました



新保院長(前列左)、山本医師(同右)と院内移植コーディネーター

令和7年10月26日(日)に大阪市中央公会堂で開催された「第26回臓器移植推進国民大会」にて、当院の救命救急センター長の山本章貴医師が、長年にわたる臓器移植に関する分野の活動実績が評価され、臓器移植対策推進功労者として、厚生労働大臣より感謝状を頂きました。



災害訓練をおこないました

令和7年11月に院内の災害訓練を実施しました。南海トラフ巨大地震が発生したという想定で訓練をおこないました。実際に想定される院内の被害やトラブルへの対応をシミュレーションし、被害状況の報告や情報伝達の方法、職員の役割分担等について確認しました。

当院は三重県の基幹災害拠点病院に指定されていますので、災害が発生した際も確実に医療が提供できるよう、定期的な訓練を実施しています。



除染用テントを設置している様子

クリスマスコンサート

令和7年12月13日(土)に、入院患者さんご家族を対象としたクリスマスコンサートを開催しました。

GMCアンサンブルによる演奏、バルーンアートなどをおこないました。多数の方にご来場いただき、大盛況でした。



職員によるGMCアンサンブルの演奏

生活習慣病教室を開催しました

令和8年1月13日(火)に生活習慣病教室を開催しました。当院の脳神経外科 黒田医師が講師を務め、「脳卒中は時間との勝負!~早期発見と予防のポイント~大切な人の命を守るために...」というテーマで、多数の方にご参加いただきました。

当院では、生活習慣病教室を定期的におこなっています。開催のお知らせについてはホームページや院内掲示板に掲載しています。事前申込・参加費は不要ですので、お気軽にご参加ください。



外来診療医師担当表

令和8年2月1日現在 最新の担当表はこちら



診療科	曜日	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
総合内科初診	1診	西田	1診	大泉	1診	藤原
総合内科	2診	感染症内科 白木	2診	血液内科 和田	2診	白木
消化器内科	3診	森谷	3診	井上	3診	山中(第1-3/5)/水谷(第2-4)
消化器内科初診	4診	井上	4診	森谷	4診	小林(午前)
消化器内科・循環器内科	5診	糖尿病外来 住田	5診	水谷	5診	腎臓内科 村田
循環器内科初診	6診	増田	6診	加藤	6診	増田
消化器内科・循環器内科	7診	加藤	7診	中澤	7診	谷垣内
ペースメーカー外来	-	-	-	-	-	-

※消化器内科水曜日の3診、消化器内科金曜日の3診、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

呼吸器センター	初診	1診	藤原	1診	吉田	1診	後藤	1診	三木	1診	児玉
	再診	-	-	-	-	-	-	2診	-	-	2診(午前)
	再診	3診	後藤	-	-	-	3診	児玉	3診	吉田	3診

※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時~11時(完全予約制)

消化器・一般外科	1診	横江	1診(午前)	北嶋	1診	尾嶋	1診	毛利	1診(午前)	大学派遣医
	2診	尾嶋	-	-	2診	山本	2診(午前)	森本	-	-
	3診(午前)	毛利	-	-	3診(午前)	横江	-	-	-	-

小児外科	-	-	2診	内田	-	-	2診	内田(14時~)	-	-
------	---	---	----	----	---	---	----	----------	---	---

乳腺外科	-	-	1診(午後)	小島	-	-	3診(午前)	山下	2診	東
	3診(午後)	乳腺外来	3診	山下	3診(15時~)	乳腺外来	3診(午後)	乳腺外来	3診(午前)	乳腺外来
	-	東	-	-	-	-	(午前)	小島	-	-

※乳腺外来は完全予約制です。

形成外科(完全予約制)	-	-	-	-	第1週(9時~11時半)	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	第2週~第5週(13時半~15時半)	橋本	-	-	-	-

心血管外科/呼吸器外科	1診	近藤	1診	新保	1診	井上	-	-	1診	井上
	2診	庄村	2診	鈴木	-	-	-	-	午後予約制	田中

脳神経外科	1診	田中	1診	黒田	予約紹介のみ	担当医師	初診予約	寺島	1診	佐野
	2診	亀井	午前予約制	脳血管外来(佐野)※	-	-	-	-	2診	亀井
	-	-	-	-	-	-	-	-	午後予約制	脊椎脊髄外来

※脳神経外科第2週・第4週火曜日9時~11時(完全予約制)

脳神経内科	1診	伊藤	1診	伊藤	1診	掃部(第1-3/5)/伊藤(第2-4)	1診	河野(第1-3/5)/萩原(第2-4)	1診	掃部
	2診	河野	2診	掃部	2診	西垣	2診	萩原(第1-3/5)/河野(第2-4)	2診	伊藤

※水曜日の1診、木曜日の1診、2診は、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

小児科	1診	杉山	1診	西森	予約のみ	太田	1診	太田	1診	杉山
	2診	西森	2診	太田	予約のみ	杉山	2診	西森	2診	鈴木
	3診	太田	3診	荻野	予約のみ	大森/山口	3診	牧野	3診	林
	予約診	山口	-	-	紹介のみ	西森	-	-	予約診	山口

産婦人科	1診	古橋(初診)	1診	杉本(第1-3/5)/田中(第2-4)(初診)	1診	河村(初診)	1診	竹内(初診)	1診	小村(第1-3/5)/山口(第2-4)(初診)
	2診	杉本	2診	朝倉	2診	竹内	2診(午前)	朝倉	2診	河村
	3診(午前)	南(第1-3/4-5)/田中(第2)	3診	小村	3診	古橋	2診(午後)	1ヶ月健診	-	-
	3診(午後)	田中	-	-	-	-	3診	たんぼぼ(助産師)外来	3診	朝倉
	4診	たんぼぼ(助産師)外来	4診	リハビリ外来(完全予約制)	-	-	-	-	-	-

※月曜日の3診、火曜日と金曜日の1診は、第1週~第5週で担当が代わります。

整形外科	1診(午前)	膝関節外来 北尾(紹介)	1診(午前)	北尾(再診)	1診(午前)	服部徹也(紹介・初診・股)	1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介・初診)
	1診(午後)	-	1診(午後)	北尾(再診)	-	-	1診(午後)	奥山(再診)	1診(午後)	-
	2診(午前)	柿本(紹介・初診・膝)	2診(午前)	服部佳生(紹介・初診)	-	-	2診(午前)	中山(紹介・初診)	-	-
	2診(午後)	-	2診(午後)	服部佳生(再診)	-	-	2診(午後)	中山(再診)	-	-
	3診(午前)	服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)	柿本(リハ、再診)	-	-	3診(午前)	服部佳生(リハ、再診)	3診(午前)	中山(リハビリ、初診)
	3診(午後)	服部徹也(再診)	3診(午後)	柿本(再診)	-	-	-	-	-	-

皮膚科	1診(午前)	北川	1診(午前)	加古	1診(午前)	加古	1診(午前)	杉岡	1診	加古
	1診(午後)	加古	午後	褥瘡回診	午後	手術	1診(午後)	加古	-	-

泌尿器科	1診	神田	-	-	1診	中谷	1診	松浦	1診	伊藤
	予約診	松浦	-	-	予約診	神田	-	-	予約診	中谷
	予約診	中谷	-	-	予約診	伊藤	-	-	予約診	松浦

眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(午後休診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗
----	----	----	----	----------	----	----	----	----	----	----

耳鼻いんこう科	1診	森下(初診)	-	-	1診	吉村(初診)	1診	森下(初診)	完全予約制	担当医
	2診	吉村(再診)	-	-	2診	森下(再診)	2診	吉村(再診)	-	-
	午後診	吉村(再診)	-	-	午後診	森下(再診)	午後診	FNA	-	-

精神科	1診	山下								
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

放射線科	1診	南平	1診	南平/野本	1診	南平/高田	1診	南平	1診	南平
------	----	----	----	-------	----	-------	----	----	----	----

休診情報

休診情報はWEBサイトやこちらのQRコードからご確認ください

三重県立総合医療センターWEBサイト
<https://mie-gmc.jp/>

休診情報ページ直通▶



WEBサイトの閲覧が難しい場合は電話・メールでお問い合わせください。

電話 / 059-345-2321 (代表) メール / sogohos@mie-gmc.jp